

「食育実践優良法人 2026」

JA金沢中央は、農林水産省が認定している『食育実践優良法人』に県内のJAでは唯一選ばれました。全国で334法人、石川県では8法人が認定されています。



2026 食育実践優良法人

食の外部化や簡便志向の高まり、若者における野菜類・果実類の摂取減少など、大人の食生活の乱れが顕在化している中、これからの社会を担う若手をはじめとする「大人の食育」の推進が求められています。

こうした中、健全な食生活を実現するためには、「働き盛り世代」が一日を多く過ごす職場において、食育を推進していくことが重要です。

そのため、従業員に対して、健康的な食事の提供、食生活の改善に資する取組とその評価を行っている法人を「食育実践優良法人」として認定し、もって、法人内の活力向上及び優良な取組の横展開を図ることを目的として、「食育実践優良法人顕彰制度」を実施します。

取り組み

自身の健康に関心を持ち、生活習慣と食生活に向き合ってもらうため、「健康チャレンジ」と称し、健康増進普及月間を設けました。具体的には①いつもの生活にプラス10分の身体活動(ストレッチ・ウオーキングなど) ②朝食を摂ることの2点を目標に記録をとりました。

また「ベジチェック～野菜足りてますか～」として、産業カウンセラーの方が定期的に各事務所を巡回する中で、推定野菜摂取量を測定するテストを行いました。

取り組みに対して、職員からは十分な意識付けができ、体調の改善等の感想とともに健康への関心・食への関心が高まった結果となりました。